

令和5年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」採択団体一覧															
種類	区分	NO	団体名	代表者名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	令和4年度（旧年度）の内容及び成果	構成人数		交付金要望額	重点事業	審査結果
											単価	活動支援金	継続支援金		
まちと協働型	一次	1	高森キッズサイエンスクラブ	手塚 恒人	今まで以上に先人の知恵に学び河川の自然の活用を考えよう！ーリニア新幹線工事で失われていく河川の自然に着目してー	南大島川と天竜川の合流地点付近の東側から、天竜川を渡るリニア新幹線の橋げたを渡る工事が始まった。まもなく、西側の高森町へ伸びてくる。2023年度は、この近傍をフィールドにし、工事で愛着のある河川の自然が失われることに直面させる。そして、今まで以上に付近の有用な資源を探索し、先人の知恵を取り入れてそれを活用することで、子どもたちのうちに河川への愛着を一層育む。 子どもたちは活動フィールドから東方の橋げたの工事を観察したり、ニセアカシア・クルミ・ヤナギなどの木々に巻かれた伐採の目印用テープを見たりして、こちらへ工事が移ってくる事を実感する。そして、近々、今まで楽しかった活動フィールドが失われると想像し、河川とその周辺は、先人たちが大切にしてきた貴重で有用な資源の宝庫であるのにざんねんだ、という思いが強くなり、今の活動を記憶に留めておこうという気持ちになる。	コゴミ・タケノコ・ヨモギなどの最終と簡単な調理・昆虫採集・竹の皮の利用・郷土料理を作って試食・ヨモギ餅つき・竹の活用・ヒラタケ菌植菌・自由研究のヒント指南など	4月15日（土）コゴミ採集と料理 5月20日（土）筍採集と料理、ヨモギ採りト冷凍保存 7月29日（土）河川敷周辺でハチや蛇に注意しながら昆虫観察採集、他の生物の観察 8月4日（土）魚とり、水棲昆虫の観察 9月29日（土）クルミ拾いとお豆腐作り 10月14日（土）天竜川河川で竹で来年の干支「辰」作り（雨天時は公民館で活動） 10月15日（日）竹串や竹の輪を作って五平餅作り 1月13日（土）冷凍したヨモギを使って本格的なもちつきと試食 3月11日（土）中華風粽作りト天竜川の柳の木他を使ったヒラタケ菌打ち込み	子どもたちは、河川とその河川敷は自由に探索できることから河川に興味を持ってきたが、先人たちが大切にしてきた貴重で有用な資源の宝庫であるという認識には、まだ至っていない。近々、かつてのフィールドの南大島川と天竜川の合流地点付近の自然が工事で失われる。この局面にじかに接していけば、子どもたちのうちに河川付近の貴重で有用な資源資源の宝庫を記憶にとどめておきたいという感情が芽生えてくると思われる。	コゴミ・タケノコ・ヨモギなどの採集と簡単な調理、竹の皮の利用、自由研究のヒント、郷土料理を作って試食、ヨモギ餅つき、竹の活用、自由研究の品の指南など 成果：今、子どもたちは、生活や遊びの中で、本物の自然体験をする機会が少なくなってきた。そのため「言葉とその解釈は何となくわかるが、体験や身体を通して実感としては、十分わかっていない」という子どもたちが増えている。これでは、自然にかかわる知識が十分活用できないばかりか、自然環境について未来永劫どうしていかんという考え方も育たない。そこで高森キッズサイエンスクラブ支援会では、夢中になって自然とかかわり、有用資材を見つけ、活用する子どもたちの育成を目標に、年7回（9回計画したが2回は増水のため中止）のイベントを計画し、実施して、郷土の有用な自然と関わる仕事ができた。	12	169,000		○	適正
											2,000	145,000	24,000		
まちと協働型	一次	2	下市田学校応援隊	吉田 正治	明治の建物下市田学校を令和に活かす。	高森町の古き良き文化遺産である下市田学校を地域の皆さんにより開かれたものにし、皆が楽しく集い、そこで出来る色々なことを体験していただき、活動できる場にしていきたいと考えている。 価値のある資産を保存はもちろん、時代に合わせ有効活用し、世代間の垣根を越えて、より豊かなひとときが過ごせ、町民の交流の場としての空間が提供でき、尚且つ校舎が生き生きと保たれていくことを目指している。	夏休みに小学生（4年～6年）を対象に親元を離れ、日頃の生活では体験できない活動を通して、視野を広げ・自らが動き仲間と協力し合って活動することにより、自主・自立の精神を養う集団生活を行う。 秋には明治期の学校校舎を地域の方々により広く知っていただくと共に、日頃見聞することの少ない落語や寄席の雰囲気味わってもらう。	子どもたちが抜休みに入った7月下旬の1泊2日が第一弾。10月下旬の市田柿の収穫に取り掛かる前に第2弾を実施する。	明治の校舎下市田学校で行う事の出来る可能性んこれからの果敢に挑戦していきたい。さらに県内にある他の明治の学校との連携を図って「明治の学校サミット」等を行う事も考えていきたい。 そのためにこれから活動を支える応援隊員を広く募集して、より地域に密着した取り組みをしていきたいと考えている。	当初考えていた2つの事業「下市田学校にお泊りしようよ」及び「第12回おいでてや寄席」の内、「下市田学校にお泊りしようよ」は小学生の応募者多数、先着20名の参加児童に、キャンセル待ちの児童3名も含め、3年ぶりに開催できると意気込み、しおりを配布し準備が整った直前、南小児童の新型コロナウイルス感染が判明しやむなく中止となる。意気消沈したが、幸い「第12回おいでてや寄席」に向けてコロナ感染状況が下火になってきたので活動を開始する。手打ちそば等その場での飲食は控え、おいでてや寄席との同時開催に高森に版画工房のある今村由男先生を迎え版画展を開催する。 当日はそれまでとは違い、少し暑いぐらいの天候で、来場者は思ったより少なく80名ほどであった。それでも来ていただいたお客様からありがたいお声を多数いただき、開催に関わった人たちは充実感を持って終えられたように思う。 出演した立川寸志さんの力量や今村由男先生の版画の素晴らしさはもちろん、①会場設営しつらえのよさが行き届いていて美しいといった声②このおいでてや寄席が長く続いていることへの感謝③コロナ禍、気分が高揚し存分に楽しめ、明るい気持ちになったとの感想が挙げられる。	17	134,000		△	適正
											2,000	10,000	34,000		
まちと協働型	一次	3	おもちゃの修理屋さん	渡邊 正一	おもちゃの修理屋さん	・動かなくなり、眠ったままの玩具に元気を取り戻す為に修理を行っている。 ・昨今ものの豊富な時代に、親・子どもたちが物の大切さを学んでほしいと願い事業運営を実施している。	・ボランティア活動であり、工具計測費・部品・修理費は基本無料 ・おもちゃ全般の修理を行うが、ガス銃等危険なものの修理の受け付けは行わない。 ・充足5年で約900件余りの修理を行う。	・毎月第2～4土曜日に飯田会場（子どもの森）2回・第3土曜日は高森会場（あったかてらす）にて実施 又、年に数回子どもの森祭に実施している。 ※令和5年度は「あったかてらす」5周年記念にて5月5日に実施	会社08にて実施しているも、高齢化が進む中で新規入会者確保に苦慮しているのが現状であり、少しでも長く事業を継続していきたい。	思い出の動かなくなったオモチャ全般の修理を実施。 一年間で約100件の修理 治った時のお子さんの笑顔が最高です。	12	53,000			適正
											2,000	29000※	24,000		
まちと協働型	一次	4	力行会地域づくり隊	林 直一	地域の環境保全推進事業	「自分たちの地域（とこ）は自分たちでつくる、育てる、つなげる」を念頭に、地域内の景観保全・地域課題・地域の活性化に取り組み、自分たちの住んでいる地域を次の代に伝えることを目的に活動する。	①地区計画で事業採択されない水路の改修 ②手が入らない、山道などの点検と手入れ ③地域内の竹林整備及び植林等による環境保全 ④防災上危険な、江戸ヶ沢・間ヶ沢上流の点検 ⑤その他、地域内で提起された課題への取り組み	左記①～⑤について、稔4回程度地域内の点検・春愁の定期作業を行う。 必要に応じて、地域内で提起された課題に取り組む。	若年層の参加を促し、出来る限り長く継続していきたい。	【内容】 ○下市田三区、宮の北常会西側に位置する山道の整備及び山道周辺に繁茂する森林を伐採し、伐採地へ広葉樹を植林し、周辺の景観を良くする。 【成果】 ○6月・10月に山道周辺の草刈り作業を実施し、2月にはバックホーを使用して山道の拡幅、整備を行い、地域の己さんの利便性が図られた。 ○10月・11月に山道周辺の竹林を伐採し、3月中旬には広葉樹30本を植林し、周辺の景観が良くなった。	22	106,000			適正
											2,000	62,000	44,000		
まちと協働型	一次	5	あじさいの会	小池 貞子	地域コミュニティ支援事業	身近なボランティア活動を中心に活動しながら、より良い地域づくりに力を出し合っていきたい。	・吉田ふれあい広場への協力・やすらぎ荘への手伝い ・災害時の広報支援（炊き出し、自衛団づくり等） ・高齢者世帯への支援（ゴミ出し、認知症、安心カード他） ・吉一サロンの実施協力 ・その他身近なボランティア活動（地区行事への支援・冬季の雪かき等）	稔2回の総会を持ち、実施内容の検討反省をしながら事業を進める。 ・やすらぎ荘のお手伝い 年間分担表を配布し実施する。 ・高齢者世帯への支援（ゴミ出し、認知症サポート、安心カード他） ・4月より花畑の手入れ（育苗・植え付け・管理等） ・吉一サロンは年3回（7、11、3月）実施協力 ・その他の事業 その都度計画し実施していく。	ボランティア活動を通して、賛同する仲間を増やし今まで続けてきた活動を長く継続していきたい。	ここ3年の間、コロナ禍の中での活動であった。そのため当初計画したやすらぎ荘へのお手伝いや吉一サロンの関わり等、活動の柱であったボランティアはできなかった。 さらに、炊き出し訓練等も、皆が集まってる活動は控えるしかなかった。そんな中、自分たちでできる活動やボラセンの助言などで、新しい活動を見つけて取り組んだ。 やすらぎ荘では昨年に続いてシート交換のお手伝いをした。7月はコロナで中止としたが1年やり通すことができた。また、折り鶴つなぎや布切理作業は作業場所を変更してやる事ができた。 花畑の管理は一年を通してきれいに管理でき道行く人に喜んでもらえた。自分たちで動くことで、地域へどう関わればよいのか話し合う機会もできよりよい生活を考えることもできた。今後、高齢化が進むことを考えると、さらにみんなで助け合う地域作りを考えていきたいと思う。	25	110,000			適正
											2,000	60,000	50,000		
	一次	6	おやこ応援隊「おてこの会」	倉沢 千穂子	子育て支援事業	子どもとその家族を支援する各種団体、個人の活動をつなげ、高森町に在住する子どもとその家族が安心して暮らせる居場所作りと仲間作りを目指す。 町内外から会員を募り、短時間の託児、送り迎え等保護者の緊急時への援助、保育園学校の要請に対するの協力、不登校生を含めた児童生徒の日常生活での関わりなど、会員の持てる力や可能な範囲でのサポートを展開していく。	①高森ファミリーサポート事業への協力 あったかてらすを事務局としたファミリーサポートの協力会員 ②あったかてらすでの子育てサークル活動、親子講座時の子どもの見守りや託児。 ③保育園 要請に応じて行事のお手伝いや園児の見守りへの協力 ④小中学校 要請に応じて学習への支援やコミュニティスクール協力会員への登録 ⑤四ヶ月健診でのスタイとメッセージカードのプレゼント ⑥不登校親の会「かいじゅうの会」とともに子どもの居場所と学びの場作りを考えていく。	毎月1回四ヶ月乳児健診でスタイプレゼントと広報活動 5月 あったかてらす5周年記念イベントのお手伝い 毎月一回定例会 毎月第二土曜日「かいじゅうの会」に参加。 6月ころ 子育てイベントと居場所作り研修会の予定	①子どもを支援する協力員の拡大とネットワークを作り、町民みんなで地域の子どもの育成、支援に関わっていききたい ②子どもも大人も気楽に集える、第三の居場所作りを目指す。		16	130,000			適正
											2,000	98,000	32,000		
まちと協働型	一次	7	原ノ城址愛護会	小平 国俊	原ノ城址愛護会活動推進事業	原ノ城址愛護会は平成17年5月20日に発足し現在に至っています。当初の目的は原城跡地の保存をはかり地域住民の憩いの場所として桜の木を植えこの場所を史跡地として管理し後世に残していくことや町内外の方々に史跡地の視察を含め楽しんで頂ける事を目的としています。	現在会員数は23名で年間として定期的に城跡地の除草作業や植樹した桜の木の消毒等の管理をしています。また2年に一度他史跡等に視察研修し会員同志の交流と親睦を深め愛護会の活動を進めています。	5月全会員による定例の草刈り作業及び定期総会。 2月～11月の間は役員中心による城跡地の除草作業及び桜の木の消毒剪定作業。 年間通しての愛護会だよりの発行。	会員を増やしこの史跡を大切に保存し出来る限り長く継続していきたい。 コロナ禍のため今はなかなか人が集まれる状況ではありませんが今後機会をみて現地での勉強会等計画していきたいと思っています。	会員による城址跡地の草刈り、桜の木の消毒作業等を実施し、環境整備をする中で、会員相互の親睦と交流を図ることができた。	23	88,000			適正
											2,000	42,000	46,000		

種類	区分	NO	団体名	代表者名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	令和４年度（旧年度）の内容及び成果	構成人数	交付金要望額		重点事業	審査結果
											単価	活動支援金	継続支援金		
まちと協働型	一次	8	TAKART	中塚 功二	TAKARTポータルサイトプロジェクト	◆NET WORK&HOT LINEの拠点づくり 1 南信州高森町の宝もの紹介 2 TAKARTの活動成果の紹介 上記２点を中心にしたHPを作り、新たな活動の拠点をWEB上に設ける。HPは日々更新するアクティブなものとし、双方向ネットワークを構築できるポータルサイトとする。（スマホ閲覧にウエイトを置く）また、広告収入を模索し採算性の確保を目指していく。 ※従来の紙媒体は地域への深耕には奏功したが、広がりに限界があった。当HPにより、広範なNETWORKとHOT LINE（タイムリーで実質的な情報発信）環境を構築したい。	◆TAKARTポータルサイトの創設 町の魅力とTAKARTの活動を紹介し、多くの人とつながり交流していくための活動拠点＝HP（ポータルサイト）を創設し、管理運営・アップデートしていく。 【現時点の内容】https://takart.shinsyu.jp 【今年度ここまでやりたい】 2022年度で構築した仮サイトを、高速サーバーに移動、これに伴い、新しいTAKART記事を追加掲載、広告の募集を行う。情報の精査をして公開する。 ※今年度を補助金交付の最終年とし、来年度以降は独自で運営できるようにしたい。	5年4～5月 サーバ移動 データ移動・セットアップ 5年4～9月 TAKART記事掲載+広告掲載（前期） 5年10月 仮公開 問題の洗い出し 5年10～6年3月 TAKART記事掲載+広告掲載（後期） 5年2～3月 公開告知 ポスター等配布	今年度：①内容の更新、投稿による内容の充実を通して、多くの人が訪れるサイトにする。②記事を通して町づくりにつながる企画・提案をする。 来年度以降：①町→地域→全県というように情報の拡散を図る。 ②ポスター アメニティグッズ、新聞、TVで取り上げられる構想をする。	①TAKARTポータルサイトを創設した（https://takart.shinsyu.jp） ②複数の登録者がPC/スマホから自由に投稿するための講習会を行った。 ③現在は内容の更新、投稿による内容の充実を図っている。 ④今後の課題として「投稿者の確保・ネットワーク化」「管理の一元化」「内容の充実」「広告掲載などによる自立化」などが挙げられる。もう一年間は仮の運用とし、調整を図り本格的なものにしたい。	19	138,000		適正	
						2,000	100,000	38,000							
まちと協働型	一次	9	あかりを灯す会	木下 富由	竹灯明製作と各種イベントで点灯事業	・竹灯明の効果で町民の心を繋ぐ ・竹林整備で環境保全や景観づくりに少しでも貢献する。 ・社会教育として地域を考えるきっかけづくりに、会員以外の親と子どもたちの参加を呼びかける。 ・学校で竹加工技術や創作のアイデアなど、指導依頼があればお手伝いする。	・地区、町の業務などで竹灯明の点灯 ・小中学校からの要請による授業のサポート ・竹林整備のお手伝い（主に下市田区） ・整備した竹のチップ化と希望者への竹チップ配布（配達是有償）	8月：市田灯ろう流し参加（11月：まるごと収穫祭で夜のライトアップがあれば参加） 12月：竹伐採と加工、萩山神社2年参り参道で点灯 4月：南小学校校のキャンドルナイト参加	・創作作業やイベント参加で、新たに仲間作りをして活動を広げる。 ・町の新たな観光に寄与する。		17	134,000		適正	
						34,000	100,000	34,000							
まちと協働型	一次	10	花とあそぼ！	原 則子	「2023バラ育種講座」の開催	園芸育種家、矢澤秀成氏の「世界で一つだけの花を咲かせよう！」をキャッチコピーとする、育種寺子屋教室（ベチュニア）を、バラ育種口座に切り替え、植物を種から育て、花が咲いた時の感動を体験してもらう事を目的とする。 バラの雄花・雌花を交配させ、種を取り種から育てることで、植物の神秘を学ぶ。芽が出たときの感動、世界で一つ自分だけのバラを咲かせた時の感動を通じて、植物を愛でることを養う。	バラ育種講座は、中学生から一般、シニア時代の親子夫婦を対象に、移動可能なポット栽培で行い、年4回の講座を予定しています。矢澤先生の「人は花を育てる。花は人を育てる」をモットーに、バラの花を通して、交配から種取り種蒔きなど、種から植物を育てる心と栽培簿技術を養いながら、オリジナルのバラを咲かせる夢が持てる講座です。	第1回 4月 2年生苗木をポットに植え替える。 第2回 6月 開花と交配 第3回 8月 夏季剪定と施肥 第4回 12月 種取りと種蒔き ・翌年の6月に種から育てたオリジナルのバラの花が見られる予定。	過去9回続いたベチュニアを使つての育種寺子屋を、バラ育種講座に切り替えました。 種から植物を育てる体験や感動を、親子・夫婦そして受講生同志で味わい、話題を共有することで、仲間のつながりと絆を醸成する。将来構想としては受講生が育てたオリジナルのバラで、バラ園を作ろうという夢を抱いている。		15	130,000		適正	
						2,000	100,000	30,000							
まちと協働型	一次	11	Necchu Ring	上澤 しのぶ	学びと青リンゴを核にした地域活性化・人材育成事業	【目的】 ◇「学び」を地域に生み出し、社会に還元する。ニーズに合致する学びの場を生み出し、実践を通して社会に還元する。 ◇「好縁」で結び、共に楽しむ 信州高森熱中小学校での世代を超えた「学友」を基礎に、血縁、地縁、社縁に加えた「好縁」で結ぶつく第三のコミュニティを作る。 ◇地域の振興と、多様で持続性のある強い地域を目指す学びを実践する。まずは加工用青リンゴの育成を行う。得たノウハウや情報を公開し、地域に新しい特産物を生み出し、ブランドを作る。 【効果】 農地・環境保全、地域創生、人材育成、リスキリング、意識改革	①青リンゴプロジェクト 加工用青リンゴは育てやすく、6次産業化など波及効果も期待できる有望な果樹である。これを地域の特産物とすべく事業を行う。耕作が難しくなっている土地を活用し、整備を行って、共同運営の園場で栽培する。 ②セミナーイベント「授業」 上記の①に関連する分野や地域課題の専門家、地域で活躍している方々を講師に招くことや、地域の特産や産業、人のつながりを探す「社会見学」など、企画から始めてニーズに合わせて行う。オンライン配信を積極的に実施し、地域外とのつながりの創出も目指す。 ③情報発信 情報発信を積極的に行い、①及び②の参加者を幅広く募集する。Webページの開設（https://ring.tkmr.info/）やメール配信、SNSの活用に加え、熱中小学校時代に結ばれた縁を活かし、幅広く行う。	①青リンゴプロジェクト 園場整備を行う。2023年4月～2024年3月にかけて、改植に向け、育苗、草刈りや防除などの既存園場の維持管理を行いながら、休眠期に抜根や植え付けなどの大きな整備を行う。 ②セミナーイベント 4月11（電子マネーとセキュリティ）、5月ワークショップを通してニーズと「やりたいことを発掘、柔軟に計画を立て、年度内に最低4回開催する。 ③情報発信 4月からWebページやSNS開設など活動を開始。上記①、②のイベントの情報発信や、仲間の募集などを行う。	【全体】 「学友」の団体として、熱中小学校で学んだことを基盤に参加者が「やってみたい」ことを実現できるよう協力して活動する。学びと実践の両輪でプロジェクト参加者を増やし、他の地域団体とも連携を目指し取り組む。 ①青リンゴプロジェクト 翌年以降、園場を完全に伐採し、青リンゴの苗を新植する。不足苗の育苗も行い、矮化栽培の技術を取り入れ初期園場整備を行う。持続的な整備育成で、2028年ごろから本格収穫を目指す。同時に、青リンゴを活用した加工食品の開発や加工販売で地域の新たな6次産業の基盤になることを目指す。ブランドینگなどにも取り組みながら、栽培しやすい加工用青リンゴの特性を生かし、工作困難な園場の活用で遊休地の拡大を防止し、仲間を増やせるように活動を展開していく。 ②セミナーイベント「授業」 時々のニーズや課題に合わせてセミナーイベントを開催していく。地域で活躍しているキーマンにご参理いただき、「学友」と言う共通点で人と人をつなぎ「やってみたいこと」を広げる基盤となる。 ③情報発信 上記①、②のイベントの情報発信や、仲間の募集などを行う。また、情報発信を通して得られた、情報発信そのもののノウハウも蓄積し公開する事で活動の発信を目指すほかの地域振興団体などと共同を目指す。		28	150,000		適正	
						56,000	94,000	56,000							
まちと協働型	一次	12	牛牧史学会	林 治巳	牛牧地区内の文化財指標柱等の美化保全事業	牛牧区内の文化財指標柱は20箇所ありますが、周辺の雑草が伸びて標柱の存在また、その説明文が読み取れない状況です。 会員により草刈りを行い、進入路の確保と標柱の美化及び保守を行うことにより、牛牧区民及び高森町民ひいては観光客にも文化財を見ていただけるよう、環境作りを行う。 これにより地域の皆さんが文化財に関心を寄せ、地域を愛する心が育まれる。また、観光客へのPRが期待でき、関係人口の増加が期待できる。	史学会員により次の2項を行う。 1 刈払い機等による文化財及び標柱周辺の草刈 2 文化財への進入路及び標柱周辺の環境整備	6月と9月の2回、3班に分かれて草刈りや整備事業を行う。	次年度以降も継続していきたい。 また、子ども育成会を通じて、地域の文化財に関心を持っていたけるような機会を作っていくたい。		26	141,000		適正	
						2,000	89,000	52,000							
まちと協働型	一次	13	千早原フラワーパートナーズ	中塚 広司	千早原地域の景観及び美化推進	千早原地域の農業を維持、発展させることと、この地域をより魅力的にし、この地域を訪れるお客さんを増やすことを目的に、拠点となるアグリ交流センター周辺へ花を植えて景観を良くする。 千早原地域の素晴らしさを再認識するとともに、SNS等で発信する。 各種団体等とコラボしてイベントなどを開催して千早原地域の魅力を町内外の多くの人々にアピールしていく。	・桜、紅葉を植えた上段道路土手の草刈り、及び管理を行う。 ・アグリ交流センター進入路脇及び駐車場周囲に「大待青草」、「水仙」、季節の花々を植え管理し景観を良くする。 ・「大待青草」の鑑賞会及びコンサートを実施 ・メンバーの親睦をはかるのを目的にアグリ交流センターの芝生広場に完成した「オーニング」「バラソル」下で桜と水仙の花見を行う。	上段道路土手などの草刈りを年3回実施 「大待青草」鑑賞会、コンサートを年3回実施 「大待青草」、「水仙」を11月に定植 花の苗の定植を適宜実施 春に桜と水仙のお花見を行う。	アグリ交流センター東の芝生広場に「オーニング」と「バラソル」が出来ここからの眺望を楽しめる素晴らしい環境が整ったのでこれを利用する人々を増やすために各種団体とコラボしたイベントを開催していきたい。 この地域への集客を増やし農園観光を推進する。		15	130,000		適正	
						2,000	100,000	30,000							

令和5年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」採択団体一覧

種類	区分	NO	団体名	代表者名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	令和4年度（旧年度）の内容及び成果	構成人数	交付金要望額		重点事業	審査結果	
											単価	活動支援金	継続支援金			
まちと協働型	一次	14	柿の里S C	宮嶋 宏行	地域住民の健康増進と教養を身に付ける事業	町内の自然・歴史・文化を体験したり、運動を通じ、参加者（地域住民やスタッフ）同士の親睦を深め、健康増進と教養を身に付ける	アフターコロナで対策もしつつ、実施方法やイベントを工夫し、準備・実行していく。 協力依頼があれば、出来る限り協力する。 ・育成会イベント ・自然体験教室 ・体力測定 ・柿の里ウォーキング他	7月30日 育成会イベント 8月中旬 自然体験教室 10月21日 まるごと収穫祭 11月3日 柿の里ウォーキング	多世代間交流の出来る行事を企画し、継続実施していく。		12	107,000			適正	
											2,000	83,000	24,000			
まちと協働型	一次	15	大清水ほたる愛護会	高野 正子	ほたる生育環境保全	山吹上平の大清水地区には、半世紀前までは、6月下旬から7月上旬にかけて、数えきれないほどのゲンジボタルが舞い、私たちの目を楽しませてくれた。ところが、ここ数十年は、ホタルの数が激減し、年間数匹しか確認ができなくなっていた。 それでも、3年前にホタルの保護活動を開始して以来、昨年は数十匹の発生を確認できるようになっている。 こうした成果を踏まえ、かつてのようなホタルが飛び交う自然環境を取り戻し、後世に伝えていくことを目的として、この事業を実施している。 ホタルとその餌であるカワニナの生育環境が整えられ、ホタルが自然の中で増えることを期待するものである	・水路周辺の草刈り作業は、土地所有者である会員が、それぞれ年間3～4回実施する。 ・会員それぞれが、水路にたまった砂利や土をさらい、水の流れを良くするなどの作業を行うほか、年に1回共同作業を実施し、遊水池を整備したりして、ホタルやカワニナの生育環境をよくする。 ・水質調査を行い、湧水に汚水や除草剤などが混ざらないか、継続的に観察する。 ・ドン・キホーテの営業開始に伴い、照明がホタルの発生に明らかな悪影響を与えていることが、ここ2年間の調査ではっきりした。今後はサッカー場等の建設も踏まえ、照明とホタルとの関係を継続的に調査していく。	・草刈りは5月から11月にかけて、各自実施する。 ・ホタルの観察は、6月の1か月間、毎日実施をする予定 ・水路と池の共同作業は、ホタルの卵が孵化する前の7月、あるいは幼虫が育ってからの秋ごろ実施する予定	・山吹区のホタル管理委員会や上平河原組合と、カワニナの生育環境やホタルの発生状況について情報交換を連携していく。 ・ドン・キホーテやサッカー場等で、地域が仮に都市化されても、その中でもホタルが生息し、人間と共存できる環境を目指していきたい。		6	112,000			適正	
											2,000	100,000	12,000			
まちと協働型	一次	16	牛牧クリーンクラスタ（U C C）	本島 忠	地域の環境保全・美化推進事業	牛牧区の手つかずとなっている町道沿線や農業用水源地の雑草、蔭木を除去することにより、環境の保全、車両運行上の視界の確保及び農業用水の安定した供給に寄与するとともに、活動を通じて会員相互の親睦を図ることを目的とする。	地域の同じ志を持つ様々な年齢層が集団となって、草木が成長する6月から9月の4ヵ月に集中して町道沿線や水路の雑草・蔭木を刈払い機により除去する。	・4月に総会を開催し、今年度の事業計画を策定する。 ・6月と8月に地域内の中央道沿線の草刈りを実施する。 ・10月から12月に事業の検証を行うとともに、会員相互の親睦を深めるため、懇親会を実施する。（別添事業計画のとおり）	集会、常会において事業の主旨を説明し、賛同する多くの区民を募り、持続可能な団体として活動できるよう考えていく。		23	146,000			適正	
											2,000	100,000	46,000			
まちと協働型	一次	17	パノラマガーデン倶楽部	本島 恭世	アグリ交流センターの花壇の花の育成・管理	アグリ交流センター・芝生広場を、アルプスを一望する素晴らしい風景を楽しむビューポイントとして、またイベントや憩いの場として、多くの人が気持ちよく活用できるよう、花のある美しい場として管理していく。 また花や芝生の手入れを通じて交流が図れるよう、関係者にも声をかけ、多くの人から愛される場になっている。	・花壇に季節の花を植え、管理を行う。 ・芝生も可能な限り手入れをする。 ・花の勉強会を開催し、技術向上と仲間作りを行う。	・初夏：宿根草苗・夏の花の植栽と手入れ ・秋：宿根草苗・球根の植栽と手入れ ・除草、消毒、草刈り（5月、6月、7月、8月） ・12月：剪定講習会 ・通年：当番制による水やり	・芝生広場を活用する団体、個人と連携をし、イベント等を開催するときには協力体制を構築していきたい。 ・観光客にも地元にも愛される場所になるよう、利用者の声や専門家のアドバイスを得ながら、よりよい空間づくりを進めていく。		14	128,000			適正	
											2,000	100,000	28,000			
まちと協働型	一次	18	上平芸能クラブ	龍口 靖彦	芸能活動による地域活性化事業	【目的】 芸能活動を通して地域の皆さまと交流を図り、明るく楽しい地域づくりに貢献すること 【効果】 ①地域行事に参加することで、地域の皆さんと交流が持てる ②活動を通して地域の皆さんに喜んでいただき、地域の良さ・楽しさを再発見していただく。	①町内の行事やイベントの参加 ②演目の検討・ステージに向けての練習	令和5年 8月上旬 上平分館納涼祭 令和5年11月中旬 公民館文化祭ステージ発表 それぞれのステージに向けての練習（各5～8回） （感染症の影響により行事中止の場合は事業未実施）	①私たちの活動を見ることで、多くの人が地域を盛り上げる活動に継続的に参加いただけるようにしたい。また子供さんが地域行事に関心を持っていただくことで、いずれ地元に着定していただけるきっかけになるようにしたい。 ②活動をアピールすることで、町外へも事業を展開し、いずれ高森町のPR活動の一端となれるような企画・活動ができることを目指します。		14	128,000			適正	
											2,000	100,000	28,000			
まちと協働型	一次	19	特定非営利活動法人 たかもり里山舎	逸見 俊隆	地域の環境保全を考え、次世代に残すための体験型イベント	町内大島山麓の沢に位置する民有林約4000㎡を借り受け、この山林の草刈り、間伐等をしながら、理想的森づくりのモデル地として整備する。 この整備活動も含め、町民および広く一般を対象としたワークショップ形式の体験型イベントを開催することで自然に親しみ、また地域の関係人口の増大を図る。 特に子どもや若い世代の参加者に高森町および里山地域の魅力を将来の世代に向け伝えていきたい。	隔月で開催予定のイベントに伴い ○会場となる現地周辺の草刈り、通路、会場の整備を行う。 ○設計した理想的山作りに応じて立木を伐採、搬出して有効活用する。 ※「たかもり里山舎」では、この計画書にあげたものとは別に高森町町外での活動も行っていますが（松川町・中川村等）ここでは高森町での事業についてのみとりあげています。	隔月開催でその時期に応じたイベントを行う。 4月…花咲く頃の山林探訪とアセスメント 6月…朴葉から朴葉巻きを作って食べよう等々、これらに伴い、刈り払い、伐木等、必要な整備を実施する。	きのこや薬草等特用林産物の栽培も計画。 また、現在確保しているフィールドでの事業に加えてご縁があれば他の山林（町有林等）でも同様の活動を展開、継続していく予定		11	122,000			適正	
											2,000	100,000	22,000			
まちと協働型	一次	20	チビッコ花広場愛護良会	福島 講造	チビッコ花広場愛護事業	【事業の目的】 チビッコ花広場の快適な環境を創造し、人々が憩い、子どもが安全に楽しく暮らせるように、地域の誇れる人と人の交流の場にする。 【事業の効果】 親子で植物の観察ができ、こどもの植物に関する感覚が養われる。 きれいな花壇が出来ることにより、SNS等で発信され、町の新たな魅力となる。 ・子どもたちが遊びに来て、良い交流の場になる ・高森町民の環境意識の向上	・年間を通じ、何らかの花が作れるようにする。 ・子どもが安全に遊べるよう、ゴミ、危険物除去、砂場整備 ・砂場の整備、雑草除去、安全な殺虫剤による虫刺され防止 ・花の写真を撮りに来てくださる方々が気分よく使ってもらえる環境を整える。 ・咲き終わった花の球、苗根配布	春～夏 苗植え 夏～秋 サツキ等の剪定 ・年間を通して除草・ゴミ拾い・水やり	・CATVやSNS等を通じて活動を紹介し、ボランティアに取り組む人を作っていく。球根を増やしていき、苗費用をかけずとも自走できる形を作っていく。		19	138,000			適正	
											2,000	100,000	38,000			
まちと協働型	一次	21	地域応援隊	宮島 千年	町内の新しいコミュニティの創造と地域づくり支援事業	町内で高齢等を理由に農地管理等が出来なくなった方々への支援を行うと共に、支援活動を通して町民同士の繋がりを進める。 また、放棄農地の再生や独居老人の方々に対する支援を通じて未来のまちづくりに対する課題や展望を明らかにしながら、隊員自らが町政に関心をもつ。将来的には町内に支部ができ、中高生が加わり大きな（「流汗参政」）のうねりが始まればよいと考える。	（1）個人農地及び公営地への雑草・支障木除去、農地再生への支援 （2）地域環境保持への支援 （3）独居老人への支援 （4）その他	5月 - 総会と活動内容の検討及び草刈り等支援計画の立案 6月 - 本隊のか活動紹介 6月～翌年2月 - 支援活動 10月 - 地域支援・農地再生の先進地視察 2月 - 総括総会と次年度に向けての方向づくり	新型コロナ感染が一息ついた（ポストコロナ）今年度は、支援活動を進めながらこれまでにできなかった課題にむけて検討を進める。 特に町内に支部的な組織や農地管理班、家庭支援班等、支援内容に合わせた組織作りの再編を考えたい。それを実現するために今後、若手・女性隊員の加入を進めたい。（相互扶助の地域実現へ）	（1）昨年度同様、新型コロナ禍で農地再生・農地維持管理等の依頼が減ったが、新たに「五陵の社」の草刈り作業や年間通しての農地管理の依頼が2件あった。今後も、「集まれる時、集まれる人が作業に参加する」「無理をしない」等のモットーで継続したい。地域の高齢化や農地の未管理地等が増えている状況下で、この取り組みを大切にしたい。 （2）本年度は昨年からの勧誘によって、若手会員が増えた。幅広い年齢層（83歳～30数歳）の構成で「流汗快飲」を進めることで、テーマを中心とした新しいコミュニティづくりの形を模索したい。新たな会員加入を進めつつ、運動して自治会加入への働きかけも考えたい。		14	135,000			適正
												2,000	107,000	28,000		

令和5年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」採択団体一覧

種類	区分	NO	団体名	代表者名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	令和４年度（旧年度）の内容及び成果	構成人数	交付金要望額		重点事業	審査結果
											単価	活動支援金	継続支援金		
まちと協働型	一次	22	高森町商工会名物料理研究委員会	米山 賢二	高齢者・中学卒業生にご当地推奨される食材を提供	・高森荘の高齢者、高森中の卒業生に高森町が推奨するご当地アルプスサーモンを提供し、高森町には誇れる食材があることを再度知ってもらう機会を起こしたい。 ・この様な事業を通じて町内飲食店の新規会員数を増やし、自分達の活動を町内外に知ってもらいたい。また、アルプスサーモンをもっとアピールしていきたい。	〈高森荘〉 ・同会員がアルプスサーモンを調理。または、食材を提供する。（コロナ明けの年なので職員さんたちと協議の上決める。） 〈高森中〉 ・給食センター内、栄養士さんと献立を協議し、調理しやすいようにして食材を届ける。	〈高森荘〉 ・令和5年9月～10月内に実施 〈高森中〉 ・令和6年3月内に実施	・地元町内でこの様な事業を通し、同会員の意思疎通を図り、調理技術の向上、ご当地井アルプスサーモンをアピールしつつ、町内外に地元食材を取り扱う飲食店を増やしていきたい。また、新たな環境産業として邁進していきたい。		6	111,000			適正
											2,000	99,000	12,000		
まちと協働型	一次	23	出原アジサイの会	宮下 琢己	地域の環境・森林整備及び観光資源造成事業	出原区有林内（ハーモニックロード沿いの林野）を整備すると共に、その林床にヤマアジサイを植樹して里山の景観を整える。また、区民たちとの共同作業を通して、里山や郷土がもつ意味、価値を理解すると共に住民間の協働の楽しさを味わう。 将来、千早原の整備と連携して当アジサイ園を公開することによって森林活用のあり方を提案したい。 また、この成果は、今後の千早原観光農園事業に付随する観光の目玉を造ることにもつながる。また、区民との協働作業を通して自然愛護や愛護精神を成したいと考える。	（１）区有林内にあるアジサイ園の整備と造成を行う。 （２）園内の遊歩道の設置並びに、その整備と新たな植樹活動（苗作りと委嘱）を推進する。 （３）千早原観光農園事業への寄与（新しい目玉の創造）を行う。 （４）活動を子どもや地域住民に紹介したり、園内の観覧を行ったりしての愛郷精神の醸成を図る。	5月 - 区民と共にアジサイの植樹・園内のアジサイに施肥、アジサイ園の下草刈、幼苗の移植 6月 - 区民と共にアジサイの挿し木（苗作り） 7月～12月まで - 定期的にアジサイ園の整備を実施、並びにアジサイ園活動先進地の視察（岐阜県） 12月～令和3年3月 - アジサイ園整備と今後のプランニング	若い世代の加入と中高生の加入を促進したい。また、以前に植樹したアジサイの立ち枯れが目立っている。（近年、特に目立つ） 前年度同様、先進地（岐阜県）視察を通して園環境のあり方を研究したい。 ポストコロナに向けて、次のステップである休憩所の整備、案内板の設置等を進めるとともに、新しい品種の苗購入に対しての研究を進めたい。		16	145,000			適正
											2,000	113,000	32,000		
地区主体型	一次	24	下市田一区自治会	佐々木 順一	自治組織の強化と地域内情報共有の強化する事業	1. 楽しい自治組織の在り方を検討し改善をする。 自主的な自治会、持続可能な社会 2. インターネットコミュニケーション環境の整備により、自治会拠点の積善会館の情報環境を進め、自治会活動の合理化を図る。	1. 高齢者の脱会、新規移住者の未加入解消の検討 2. 自治会事業の内容見直し、若者の参加の促進し改善を図る R4年度にてモバイルルーターによるインターネット等環境整備が進み、具体的に活用段階に移行する。	4月から6月 目的達成のための方法検討や情報収集 7月から12月 具体的な内容検討 1月から3月 実施等検証 いずれも区、町の支援を得る	令和4年度継続事業でもあり、令和5年度事業計画および予算計上し、実効性ある改善に努める。			100,000			適正
												100,000			
地区主体型	一次	25	新田地区	大島 誠	新田地区コミュニティ活性化特別事業	コロナ禍の3年間で、地区・分館・育成会などの活動が停滞し、地区内のコミュニティが希薄化している。そのため新田地区にはいまだほとんどいなかった地区の未加入者や脱会する者もあり、少子高齢化によって今後さらに地区加入者の減少が懸念される。 地区加入のメリットを検討する中でこうした状況を打開し、加入促進のツールとして地区のコミュニティを活性化させ魅力ある地区にするための全戸アンケートを行い、事業の見直しに活用する。アンケートによって地区に対する理解を深めるとともに、自分たちの地区を自分たちで改善していくような気運を高める。アンケート案別添	地区規約に沿って、世代を超えた地区コミュニティ活性化特別委員会を設置し、地区・分館・育成会の事業などを改めて検討し、スクラップ＆ビルドで事業の見直しを行う。また、地区加入促進のツールとして、地区のコミュニティを活性化させ魅力ある地区にするための全戸アンケートを行い、事業の見直しに活用する。	5月第一回知っコミュニティ活性化特別委員会による検討 6～7月全戸アンケートの実施・回収・集約 8月第二回地区コミュニティ活性化特別委員会による検討・事業化 1月第三回地区コミュニティ活性化特別委員会による検討及び報告書作成・加入促進活動の実施	地区内のコミュニティを活性化し地区加入のメリットをさらに検討する			100,000			適正
												100,000			
まちと共創型	一次	26	丸山あったか育みプロジェクト	湯沢 正農夫	丸山あったか育み事業	近隣する丸山公園やあったかてらす一帯を使い、子どもが花や緑や土にふれ、楽しく遊びながら学ぶ場を造る。 作業等を通じて幅広い世代や仲間との交流を図り、子どもの育ちを地域で支援するとともに賑わいのある公園づくりを行う。 あったかてらすと丸山公園が連携することで、より相乗効果を発揮できる。事業を通じ、施設と地域、子育て世代とその他の世代など、幅広い交流が行われる。また、中学生たちのまちづくりへの関心が高まり健全育成が図られる。	公園やあったかてらす周辺に、畑や花壇など子どもと一緒に土いじりができる場所を造り、一緒に作業を行う。子どもが自然に興味を持ち、楽しく自然と触れ合えるような公園づくりの発想や提案をする。	畑の作業・収穫・賞味、丸山公園の花壇づくり 3月～4月 あったかてらすと連携したイベント、収穫祭などの開催 随時	賑わいのある公園づくりを町と連携し継続していきたい。	11	122,000		適正		
										2,000	100,000	22,000			
まちと共創型	一次	27	柿の里コミュニティスクール	田本 けい子	地域とともにある学校づくり事業	学校教育目標「より強く より豊かに生きる 市田の子ども」に向け、ふるさと高森で学ぶ場として、地域を題材にした体験学習を行っている。その際に、地域の方を講師として招いて教えていただいたり、地域の方、施設との交流を行ったり、ご指導をいただいたりする中でふるさと〃ひと、もの、こと〃の良さに触れ、ふるさと高森町を愛する心を育むことを目的とする。活動を重ねるごとに子どもたちが親近感を持って講師の方と関われるようになり、教えてくださる方への感謝の気持ちを持つことができる。地域のボランティアにとっても学校を身近に感じていただくことができる。	○登下校見守り ○環境整備 ○読み聞かせ ○クラブ活動指導 ○栽培活動指導（米、大豆など）○干し柿作り ○豆腐作り ○学習支援（習字、ミシンなど）	学年の活動に応じて	町で支援していただいたボランティア名簿を活用しながら、地域に関わる活動をさらに展開していきたい	25	150,000		適正		
										2,000	100,000	50,000			

令和5年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」採択団体一覧

種類	区分	NO	団体名	代表者名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	令和４年度（旧年度）の内容及び成果	構成人数	交付金要望額		重点事業	審査結果
											単価	活動支援金	継続支援金		
まちと共創型	一次	28	山吹ほたるの里コミュニティスクール	松岡 香代子	特色ある学校づくり推進事業	保護者・地域住民・学校が連携・協力して「地域の子どもは、地域で育てる」という理念のもと、それぞれのニーズと願いを迅速かつ的確に把握して学校運営に反映させ、学校・家庭・地域が一帯となつて、より良い教育の実現に取り組むことを目的とする。 地域の方々の支援、交流をとおして、児童が自分たちの住む地域を知ると共に、地域を愛する心情を育成できる。また、地域の方々と学校との協同をさらに推し進めることができる。	・地域講師によるクラブ活動、ふれあい参観日の諸講座 ・学習支援 ・読み聞かせ ・やすらぎ荘、保育園 等との交流	・５月～10月：クラブ活動 ・９月14日 ：ふれあい参観日 ・随時：学習支援 等	ボランティアをはじめとする協力者を増やし、出来る限り長く継続していきたい。		25	150,000			適正
											2,000	100,000	50,000		
まちと共創型	一次	29	伝えたい想いアオギリに託して	山内 智子	次世代へ！平和をつなぐ事業	丸山公園平和の丘には広島市や長崎市から寄贈された被爆樹木2世があります。高森町で「被爆アオギリ3世」を育て、平和への思いを次世代に繋げていく。	被爆樹木のアオギリの育苗を中心に、植樹先の検討する中で平和への思いを繋げていく事業を行う。	・被爆アオギリ2世から3世を育てる事を継続する。苗木が育ち構成員宅などで順調に育っている。高森町で育った「被爆アオギリ3世」として、町内外に配布を行い、平和を繋いでいく。 ・9月6日に「平和をつなぐつどい」の開催 ・丸山公園平和の丘にある被爆樹木の手入れ ・高森町と同じく「被爆アオギリ2世」がある南木曾町と平和交流 ・機関紙の発行 ・平和の鐘台座設置に向けた検討 ・長崎市から寄贈された「とんご柿」を使った干し柿作り ・次世代への平和意識の向上を図る。	町内外へのアオギリ配布を通じ、交流する中で平和を考える仲間を増やすことを継続していく。		24	148,000			適正
											2,000	100,000	48,000		
まちと共創型	一次	30	小原ヶ丘コミュニティスクール	上澤 浩	特色ある学校づくり推進事業	各教科・総合的な学習の時間等の学習支援や環境整備、読み聞かせ、登下校安全確保、体験活動等において、ボランティア登録者による学校支援を通して、学校・保護者・町民がつながり子どもたちを支え、特色ある学校づくりを目指すことを目的とする。 地域の方々の専門性や地域の自然・社会環境を生かした様々な支援により、学校の教育活動が充実し、子どもたちに多様な経験を保証したり学びを培ったりすることができる。 互いに顔がわかる関係を築き、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりを構築することができる。	1 各教科・総合的な学習の時間などの学習支援 2 学校花壇や学校周辺の草刈りなどの環境整備 3 読書週間における読みきかせ 4 登下校時における通学路の見守りによる安全確保 5 体験活動などにおける外部講師の招聘 6 キャリア教育における地域応援隊活動	1 各教科・総合的な学習の時間等の学習支援等を年間通じて実施 2 学校花壇の整備や学校周辺の草刈りを５～10月に実施 3 読書週間における読み聞かせを年間通じて実施 4 登下校における通学路の安全確保を年間通じて実施 5 体験活動などにおける外部講師の招聘を年間通じて実施 6 地域応援隊をキャリア教育の中で実施	・体制作りを継続して進め、支援が充実するようにしたい。		25	130,000			適正
											2,000	80,000	50,000		
みんなで経営型	一次	31	信州高森パノラマビレッジ	清水 誠	パノラマ農園の資源を生かした地域の元気づくり	地域、農家、民間など多様な関係者の連携により、パノラマ農園の資源・景観を活かしたコミュニティビジネスを通じて、人が集まる元気な地域につなげることを目的とする。	1、宿泊施設、観光集客施設との連携による農体験・景観拠点としてのプログラム化とイベントの開催 2、芝生広場の活用（サンデー・トライアルカフェ） 3、農作物で都会とつなぐプロジェクト 4、情報発信（パンフレット、ホームページの運営管理、SNS等）	・４月～ リンゴ農園の作業体験開始（通年）オープンカフェの試行開始 ・５月～ 関係者調整、収穫体験、農園観光受け入れ、民泊開始 ・６月～ ブルーベリー摘み、パンフレット制作 ・７月～９月 トマト収穫 ・９月～11月 梨、りんご、西洋梨の収穫と東京・通年：ホームページの運営管理、SNS情報発信（継続）、広報	・芝生広場の整備をきっかけに、景観公園＋カフェ＋産品＋体験など複合的な要素を取り込み、いつでも来訪者を受け入れられる体制を整えていきたい。また継続することにより、美しい農園が維持されることにつなげたい。			500,000			適正
												500,000			
わかもの	一次	32	水引の魅力を広める	宮下 あかり	水引の魅力を飯田下伊那に広めたい。	【活動目的】 私たちは学校の探究という授業の一環で、「飯田に賑わいを取り戻したい」という想いから、「高校生が地域のためにできることはなんだろう」という問いを立てて活動を始めました。一年生の間は飯田の魅力や課題、飯田市外から見た飯田を中心に調査を行ってきました。それらを調べる中で私たちは全国シェアが70%を占めている「飯田水引」に着目し、現在では「飯田の水引ブランドを周知させる」ことを目標に取り組んでいます。	【活動内容】 2023年３月 U18サミットに参加 2023年７月 松本でワークショップ 2023年11月 松本でワークショップ 2023年12月 長野県マイプロジェクトに参加 2024年３月 県外でワークショップ U18サミットに参加	【活動の成果】 水引の認知が広まり、それに伴い水引の生産の大部分を占める飯田・下伊那に興味をもってもらえる。				150,000			適正

4,435,000